

令和5年度 白馬南小学校 学校評価のまとめ

対象	項目	番号	質問内容	肯定的意見				結果・考察
			*質問項目に対し、Aとてもそう思う、Bそう思う、Cあまりそう思わない、Dそう思わないの四択で回答。その内、A+Bを肯定的意見、C+Dを課題意見とし集計。	児童	保護者	教職員	平均	* 肯定的意見が90%以上 (◎)、90%未満80%以上 (○) 80%未満70%以上 (△) 60%以下 (▲)
児童	行動面	1	楽しく学校生活を送っている。	97%	92%	100%	96%	◎学校が楽しいと感じている子がほとんどです。今年度の児童会スローガン「楽しいからこそ学校だ！」を具現化し、6年生を中心に、児童会や各行事などに意欲的に創造力を働かせて取り組んでいます。また、全校レベルで友だちと楽しく遊んだりできていることがわかります。わずかではありますが、「あまり楽しくない」と感じている児童もいますので、個別に寄り添い、継続して支援をしていきます。
		2	挨拶や返事をしっかりと行うなど、生活のマナーやルールを守っている。	93%	98%	92%	94%	◎「いいあいさつの日」や児童会本部の“挨拶の5段階”の取り組みなどの成果が出ていると思います。横断歩道でも、止まってくれた車に一礼する姿が見られます。さらに、誰にでも明るく挨拶できたり、生活のマナーやルールを守ったりできるよう、今後も声を掛けていきます。
		3	いろいろな友だちを大切にできる。	94%	90%	91%	91%	◎友だちを大切にできる子が多いです。学年のみならず、連学年やたてわり班での活動も多く取り入れ、異学年集団の中で支え合い認め合うことで、全校の間でも信頼関係が深まっていると感じます。さらに、トラブルが起こったときに、相手の立場に立って考え解決できる、思いやりの気持ちが育つように、今後も道德の授業の充実や温かな学校づくりを目指します。
	学習面	4	ていねいな言葉で話したり、相手の声に耳を傾けながら、じっくりと話を聞いたりできる。	81%	91%	46%	73%	△意識の違いが出た項目です。児童と教職員は授業で気を付けている学び方の一つ「友だちの声に耳を傾ける」姿を評価したと思われます。まずはしっかり「聴く」ことができることが深く学ぶことにつながる一歩であり、職員もより高いものを求めています。授業でも意識して指導していきます。
		5	授業中、気付きや考えを友だちと伝え合いながら、対話的・協働的に学んでいる。	90%	100%	92%	94%	◎本校では「協働の学び」という、対話を軸にした学びを深める活動を授業の中心に据えています。課題に対して自分の考えをもち、さらに友との対話によって考えを修正したり更新したりすることで、学びを深めます。授業だけでなく児童集会や音楽集会などでも、対話によって自分の考えや表現を積極的に伝え合える子どもたちが育っていると考えます。
		6	宿題など自分で決めたことを最後までやりぬくことができる。	84%	83%	85%	84%	○家庭学習は、学習の定着及び、家庭での学習習慣付けのために大切です。学校とご家庭とが連携し合って、子どもたちの学力向上に努めていきたいと思えます。今後ご家庭でのお声掛けをお願いいたします。
		7	進んで読書をしている。	85%	70%	100%	85%	○学校では、魅力ある図書環境づくりに努め、多くの児童が本に親しむ姿があります。さらに、自分から進んで本に親しむ子が増えるよう、読書の魅力をこれからも工夫して伝えていきます。
学校・教師	授業	8	丁寧に説明したり、対話を軸に、子どもたちの学びが深まる授業を工夫したりしている。	92%	100%	100%	97%	◎本校の学び方「協働の学び」の成果が出てきていると思われます。1時間の授業のゴールや、単元の目標に向かって、子どもたちが友・自分・対象との対話を軸に学びを深めていけるよう、ますます魅力ある授業づくりを目指します。そのために、教師の授業力を高めるための研修会や授業公開なども積極的に行っていきます。
		9	子どもの健康・体力の向上に努めている。	96%	92%	100%	96%	◎保健指導や体育の授業等を利用して、子どもたちが自分自身の健康や体力向上に関心をもち、スポーツをしたり健康に気を付けたりできるよう指導をしています。何よりも、冬のスキー学習は本校の大きな特色です。継続して意識できるよう、日々の指導をさらに工夫していきます。
	児童理解	10	子どもたちの安心・安全な学校生活のために、真剣に対応している。	93%	100%	100%	98%	◎全ての子どもたちが安心して安全に学校生活を送ることができるよう、日々の声掛けやスクールカウンセラーによる面談、授業での指導支援などを継続して行っています。今後も、子どもたちが悩みや不安、迷いを抱えた時にも、それを乗り越え解決していけるよう、職員全員でサポートしていきます。

保護者の方からのご意見・ご質問

番号	ご意見・ご質問	回 答
1	<p>・入学当初は登下校のトイレに困りました。学校近くのコンビニしか寄れる場所がなくまた、道の駅のトイレは反対側なので渡ることが出来ません。</p>	<p>入学後すぐの1年生にとって、とても心配なことだと思います。まずは、学校でトイレに行ってから帰ること、また途中で困った際には「子どもを守る安心の家」などにもお願いしてもよいことを、今後も学校からも子どもたちに伝えていきます。ご家庭でも、登下校中の様子について話題にさせていただきますとありがたいです。</p>
2	<p>・授業内容や色々な事を経験させる幅広さなど担任になった先生によります。担任制より、もっと先生の得意な部分を発揮してもらえような、教科・分野別の教授も希望します</p>	<p>今後も「チーム学校」として、複数の眼で子どもたちを全職員でサポートしていきたいと考えております。教科担任制のような体制も多様な学びには必要であると考えます。今年度は新たな取り組みとして、担任同士で連携し連学年で一緒に授業を行うなどの工夫をしたり、もともと専科が行う音楽科と家庭科に加え、体育科や外国語学習、図画工作科、ICT機器を利用する授業等で、学級担任以外の教師も授業を行ったりしています。今後も、子どもたちの幅広い学びに向けて、より良い体制づくり目指していきます。</p>
3	<p>・いつもお世話になっています 給食の試食会の機会を増やしたらどうかと思っています。</p>	<p>給食試食会は、子どもたちの給食内容が分かる、良い機会となっております。現在は、1年生の保護者を中心に年に一回開催しております。機会を増やしたいところではありますが、毎年、6年生の修学旅行日の裏で行っております。現在としましては、教室と食器・食缶の空いている、6年生の修学旅行の裏で行うのがベストと考えます。またPTAの活動になりますので、役員の皆様のご負担も考慮し年1回としておりますことをご了承ください。</p>
4	<p>・南小でのいじめ対応は、どのようになっていますか。</p>	<p>本校では、子どもたち同士のトラブルや、いじめにつながりかねないからかいなど、素早く指導をしております。担任はもとより、複数の教員で対応しています。また、全職員と共有してその後の様子を見守ったり、必要であれば「いじめ対策委員会」を開いて、関係する児童と保護者との面談、指導を行っております。事案によって対策は変わってくると思いますが、私たちが望むことは、本校の子どもたち全員が伸び伸びと学校生活が送れることと、困難を乗り越えて未来を切り開いていく力を身に付けることです。今後も、保護者の皆様と協力しながら、子どもたちの健やかな成長をサポートしていきます。</p>
5	<p>・通学バスを通年にして欲しいです。</p>	<p>通学バスに関しましては、白馬村教育委員会でより良い利用を考えていただき、毎年、少しずつバス通学範囲を増やしていただきました。おかげさまで、冬場でも安全に登下校できるようになっております。しかし、通年となると新たな課題やご意見も出てくるかと思えます。また、成長期の子どもたちにとって歩いて通学することは、健康な体づくりにつながり、重要な教育要素であるとも考えています。今後も、状況に応じて教育委員会と相談を重ねていきたいと思えます。</p>

6	<p>・着衣泳をやっていただきたいです。当校でも、数年前までは毎年最後のプール授業の際に行っていましたが、ここ最近は実施されていません。服のまま水に入ったらどうなるのか。どうしたらいいのか。水難事故が後を絶たない中、知っているといないでは大きく変わってきます。是非とも復活させてください。</p>	<p>着衣泳は、水難事故の際に命を守るための大切な訓練であると思います。しかしながら、コロナ禍数年間の感染予防の点や水泳学習時間の減少から、全学年では行っていませんでした。服を着て水中に落ちた際にどのような状態になるのか、体感的に学ぶことは意義のあることだと思いますので、検討してま参りたいと思います。</p>
7	<p>・5月運動会、6月持久走大会、7月プール授業終了で、2学期は体力向上のための大きな目標がないような気がします。せめて運動会が春ならば持久走大会は秋にしてほしいです。</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。職員間でも、行事の振り返りの際に同じような意見が聞かれております。様々な予定がありますので、すぐに可能とは申し上げられませんが、来年度の年間指導計画作成の際に、検討してまいります。</p>
8	<p>・南小は土砂災害の危険区域にあるので、大雨が降るといつも心配になります。起こり得る災害を想定した避難訓練をしていただけたらと思います。</p>	<p>9月の、地震を想定した避難訓練の際には、土砂災害も意識しながら、毎年白馬南小学校区の避難場所となっている、「貞麟寺」と「飯田公民館」に交代で避難する訓練をしております。避難の際には、本当の地震であれば起こり得る、地割れや落下物、建物の倒壊、避難中の余震などを想像して、並び方、歩き方、交通安全、避難路の状況などを考えながら避難しております。地震発生の設定ではありますが、土砂災害等にもつながる訓練だと考えております。また、ここ数年は高学年にて、信州大学とも連携しながら防災についてより深く学ぶ取り組みをしてきました。様々な自然災害の続く近年、ご意見をいただきましたことを参考にして、土砂災害への意識も高めていきたいと思っております。</p>